

# 学園スタッフを 紹介します



大学  
リハビリテーション学科  
学科長 谷合 義旦

**A1** 義肢(主に義手)装具(主に上肢装具)・福祉用具に関わる科目を担当しています。

これらは個別対応が原則であり、生活に役立つ「もの」が求められ、奥が深いのです。

**A2** 卒業後2年目、臨床で上肢切断、脊髄損傷、リウマチに対する作業療法を経験し、「もの(義手・装具・福祉用具)」の重要性を知り、研究テーマとなりました。

**A3** 狭い日本・・・? 広いですね。知らない土地や史跡を訪ねること。森林浴や滝めぐりは、足腰の痛みも忘れ心躍るひと時です。

**A4** 世界の三大瀑布(ナイアガラ、イグアス、ビクトリア)を巡るのが夢ですが、まだ一つです。実現できるか・・・?

- Q1 お仕事の内容をお聞かせください。
- Q2 お仕事を始められたきっかけを教えてください。
- Q3 趣味はなんですか?
- Q4 今後の抱負をお聞かせください。



大学・短大 保健室  
高橋 典子

**A1** 大学・短大の保健室に勤務しています。学生や教職員の皆様の急病やケガの対応、健康診断の事後指導、健康相談などが主な仕事です。

**A2** もともと看護師や保健師として病院や企業等で働いていましたが、若い時からの健康管理の大切さを実感し、大学で働いてみたいと思いました。

**A3** 趣味と言えるものはありませんが、本を読むこと、旅行をすること、食べることが好きです。

**A4** 保健室に来て良かったと思える人を増やしたいです。頼りになる保健室の「主(ぬし)」を目指します(笑)。



高等学校  
教頭 玉井 宏昌

**A1** 学校長を補佐し、先生方と生徒を全力で支援していく仕事です。そして、先生方と共に生徒のやる気を育てています。

**A2** 学生時代に数学を教えたことがきっかけです。「わかった!」喜びを共に感じ、また受験と一緒に乗り越えた経験は、教職の礎になっています。

**A3** ゴルフとウォーキングです。思い切りボールを飛ばすとスカッとし、桜や紅葉を楽しむウォーキングはホッとします。

**A4** 「チームワークを大切にすること」、「自分に負けないこと」と学園全体でもう一度「じゃんけん大会」をすることです。



本部受付  
前川 めぐみ

**A1** 法人本部の総務部に所属しています。本部の受付に在席し、主に代表電話の取次ぎや来客時の応待を行っています。

**A2** 受付の仕事をしなが、事務職の経験を積むことができると思い、始めました。

**A3** 趣味は音楽と旅行です。旅行に行く際は、航空券とホテルを別々に予約し、滞在先の情報を徹底的に調べ、楽しんでいます。

**A4** 全国各地を周りたくと考えています。温泉地や各地の神社仏閣などを訪れたいと思っています。



- 学園広報編集委員会
- 委員長 山口 美和 (大学社会福祉学部)
  - 委員 森川 千尋 (大学事務局) 高橋 賢悟 (高等学校) 早川 充昭 (法人本部)
  - 山本 円香 (大学事務局) 岡本 秀美 (幼稚園) 大前 有希 (法人本部)
  - 竹本 奈津美 (大学事務局) 植田 陽 (法人本部)

# 玉手山学園 広報

Tamateyama Gakuen Kouhou 2015.5 SPRING-SUMMER

Vol. **78**

巻頭 理事長あいさつ

ようこそ玉手山学園へ  
「どう「夢」に近づくか」「志」を立てる」



KANSAI WOMEN'S COLLEGE  
KANSAI WOMEN'S COLLEGE KINDERGARTEN  
since 1965

## Contents

- 巻頭 理事長あいさつ
- 入学式・入園式特集
- 卒業式・卒園式特集
- 大学 福祉・防災マッププロジェクト
- 短大・高校 新校舎建築
- 短大 保育フェスタ
- 幼稚園 消防出初め式に参加
- 高校 クラブ活動報告
- K's コンサート
- ニューフェイス
- 学園スタッフ紹介



## 建学の精神「感恩」

人は様々な恩恵を享受し 生かされている  
この真理に目覚め 感動と感謝から発する  
豊かな心と情熱をもって 人の幸せを願い行動するとき  
私たちは社会に貢献できる  
~「ありがとう」に出会い気づき 感動 感謝の行動から  
新しい「ありがとう」が生み出されていく~



学校法人 玉手山学園  
関西福祉科学大学附属  
総合リハビリテーション診療所

☆お問い合わせ☆  
☎ 072-931-9970  
柏原市旭ヶ丘3丁目11番37号

診療科目  
■内科 ■整形外科 ■リハビリテーション科

診療時間 ※土・日・祝日休診

	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	○	○	○	○	○	△	△
14:00~17:00	○	○	○	○	○	△	△





## 巻頭

# 理事長あいさつ ようこそ 玉手山学園へ ～どう「夢」に近づくか 「志」を立てる～



デンマーク研修生のお土産(イースターエッグ)と福祉・防災マップ  
大学地域連携センター(有文館)前にて

### 皆さま ようこそ! 学園を、この街を好きになって

新しく学園の「仲間」になられた学生・生徒・園児(以下、学生と称す)、教職員の皆さま、ようこそ玉手山学園にお越し下さいました。仲間を愛し生涯の友を作り、柏原の街に親しみ青春の故郷にして、豊かな学園生活を送られることを願っています。

### 建学の精神「感恩」 学園73周年 関女と幼稚園は50周年 卒業生は誇り

玉手山学園は本年創設73周年、建学の精神「感恩」のもと、今日まで「ありがとう」を大切にする教育に邁進してまいりました。約6万3,300人の卒業生の存在は、学園の歩みそのものであり、大きな力・誇りです。そしてアジア初の東京オリンピック開催(昭和39年)の翌年に創設された「関女」(関西女子短期大学)と同附属幼稚園は本年50周年を迎えました。本学園と言えば「カンジョ」の所以がここにあるのです。この機に「感謝の表明、母校愛の醸成、短大・幼稚園の活力発信」を趣旨として50周年記念式典(平成27年10月24日)を計画し、また短期大学の新校舎を建築(今夏竣工予定)中です。玉手山学園はますます「元気」になります。



幼稚園 生活発表会 どんどん成長していく  
(2015.2)

### 学園は「夢」に近づくところ 「夢」と「志」を大切に

皆さまはそれぞれの「夢」に近づくために、この学園に来られました。「志」とは何でしょう。夢に近づくためのエネルギー、その気・本気になることではないでしょうか。その「志」はどうやって立てるのでしょうか。「志の立て方」などという授業科目はありません。日々の授業が基本ですが、学園生活の中で色々な感動・感謝を体験し、刺激を受けることが、志を立てる(その気・本気になる)大きな機会・キッカケとなります。



高校体育祭 クラブ行進  
夢中になることはいいこと、成長につながる(2014.9)

### 「福祉・防災マップ」作りから得られるもの

学園には色々な活動の「機会・プログラム」があります。例えば「柏原市福祉・防災マップ」。これは本学園の学生が街の人達と一緒に、汗を流して作業し作り上げたマップで、いろんな人達から「ありがとう」の言葉を頂きました。「自分が感謝してもらえた、人の役に立てた…」この経験・喜び・達成感は間違いなく「志」のエネルギーになります。街に貢献し(街の人に喜んでもらい)、汗をかいた自分自身も成長していけるのです。



「福祉・防災マップ」贈呈式  
(2015.2)

### 「やってみよう!」を大切に 夢は逃げない、逃げるのは自分

もちろん日々の授業、学習は大きな柱です。例えば、「必ず歯科衛生士の国家試験に合格して歯科医院で働く。自分は記憶力が良くないけれど、人の数倍かけて勉強する。今までの人生で一番勉強したというくらい頑張る。」素晴らしい夢と志です、必ず合格するでしょう。しかし現実には「それでもダメだった…全力でチャレンジしたのに」ということも起こります。そんな人も私は誇りに思います。「やってみよう!」のチャレンジ精神を忘れないでほしいと思います。チャレンジしての失敗は必ず成長につながります。「夢は逃げない、逃げるのは自分」、私はこの言葉が心に響きます。



(関女) 関女技能オリンピック  
学生の発想は豊か(2014.12)



(福科大) 福祉・保育実習セミナー  
実習生の4人に1人が卒業生(2015.2)

### 「学園“元気”メソッド」 感動・感謝の体験 地域との連携もチャンス

「この学園に入ったら、元気・やる気が出てきた。」そんな学園でありたいと願っています。それが偶然ではなく、必然である学園にしたいと願っています。そのために「学園と地域との連携」も大きな可能性を持っています。街のために何かを行い喜んでもらえば、学生たちも成長できます。彼らが成長すれば教職員も成長できます。また学園内にも感動・感謝のいろいろな「粋な」取組があります。学生そして教職員が元気になる、本気になる、その仕組みを「学園“元気”メソッド」として目に見える「モノ」にしていきたいと考えています。



二上山登山  
地球と遊ぶ、学園を想う(2015.3)

### 笑顔、あいさつ、優しさを大切に

「笑顔、あいさつ、優しさ」は豊かな心、人格の出発点です。豊かな心とは何でしょう。みんなの幸せを願い行動する、力強く優しい気力ともいえると思います。理屈は不要です、人から笑顔、あいさつをもらい、優しくされたら元気が出ます。しかめっ面をしている自分に気づいたら、横じわを意識してつくってみませんか。

### 第2期(2013～2017)学園中長期計画推進中 高校に新校舎“For the students”

2015年度、高校に新校舎を建築する計画が始動します。高校2号館(グラウンド傍)を今年度中に解体、新校舎は2017年3月竣工の予定です。高校教職員の皆さまが創意工夫を凝らし、ずっと居たくなるような快適な学舎が完成することを期待しています。その他にも大学の教学組織拡充(5学部6学科構想)など、すべて「For the students」の視座から、一層の学園教育力向上に誠実に努めてまいります。「玉手山学園に入学してよかった、卒業してよかった」と実感してもらうことが私たち教職員の願いであり最高の喜びです。

理事長・学園長 江端 源治

# 入学式・入園式特集

## 大学入学式

平成27年4月2日、大学入学宣誓式が挙行されました。当日は記念講堂までの道で在学生在が新生にクラブ勧誘をする姿が見られ、活気にあふれていました。

入学式では、学生歌「恵みの美空」の斉唱から始まり、新入生代表による宣誓、学長や理事長による式辞、在在学生による歓迎の言葉と進行していきました。学長や理事長から夢に向かって努力する学生を応援する、熱い激励の言葉が贈られ、新入生のみなさんは力強い目で応えてくれました。これから始まる大学生活において様々な経験を積み、大きく成長されるよう願っています。ご入学おめでとうございます！



八田学長

## 高校入学式

小雨で例年よりも肌寒く感じられる4月8日、本学園記念講堂において平成27年度の入学式が厳かに行われました。新入生宣誓では、保育進学コースの安永明日香さんが377名の代表として3年間の決意を力強く述べました。会場には新入生の保護者がつめかけ、夢の実現に向けて新たな世界で飛躍を誓う我が子の姿に見入っていました。

今年度の在 student 徒数は1999年以来となる1000人を超え(1060人)、本校にとってまさに飛躍の年度初めになりました。



尾崎校長



## 短大入学式

平成27年4月1日、第51回入学宣誓式を挙行しました。真新しい制服に身を包み、勾玉橋を渡って入学されるみなさんを満開の桜が迎えました。

受付では、新入生を歓迎する教職員が式次第を渡すと学生は笑顔で応えてくれました。入学宣誓式では、新入生代表が短大で過ごす生活と勉学に対する決意を述べました。その後の学長の式辞では、祖父江学長からあたたかく力強い言葉が贈られ、新入生のみなさんはこれからの短大生活に期待を膨らませながら、一生懸命耳を傾けていました。

ご入学されたみなさん、おめでとうございます。教職員一同、全力でみなさんの学生生活をサポートしていきます！



祖父江学長



澤井園長

## 幼稚園入園式

初めまして！

卒園式から20日が過ぎた4月7日、桜の花が名残の花吹雪で迎える中、新しく144名の子どもたちが元気に入園してきました。ご家族に手を引かれ、まだ歩き方もかわいいヨチヨチした姿ですが、これから園の一員としてたくさんの人に見守られながら、楽しく過ごすことができるよう、教職員一同頑張っております。

大学生、短大生や高校生のお兄さん、お姉さんもかわいい園児の成長を優しく助け、また見守ってくださいますようお願いいたします。

# 卒業式・卒園式特集

## 大学卒業式



平成27年3月24日、平成26年度卒業・修了証書学位記授与式を挙りました。

来賓の方々、在学生、教職員が出席する中、学生歌「恵みの美空」の斉唱にはじまり、卒業生代表者に卒業・修了証書、学位記が授与されました。式を通して手話部による手話通訳が行われる中、社会へ旅立つ卒業生に向けて八田学長より、「志」と「感謝の気持ち」を持ち続け、自ら求めて知識を得る姿勢を堅持することの大切さを饒の言葉として贈られました。卒業生のみなさんが、今まで培った知識と友情を自信にしてご活躍されることを心から祈っています。ご卒業おめでとうございます。

## 短大卒業式

平成27年3月18日、平成26年度卒業・修了証書学位記授与式を挙りました。祖父江鎮雄学長が式辞として、「努力と絆」に裏打ちされた「和の心」の大切さと、それを実現するために必要な「志」、「夢」、「目標」の共有について述べられ、本学の建学の精神「感恩」を礎に、「人々から喜ばれることに喜びを覚える人生」を送ることを願われました。そのメッセージを真摯に聞き入る卒業生の姿が印象的でした。学生生活で得た友情と知識を誇りに、卒業されるみなさんが社会でご活躍され、充実した人生を送られることを願っています。ご卒業おめでとうございます。



## 高校卒業式



平成27年2月26日(木)、あいにくの天候ではありましたが、多くの来賓や保護者を迎え、厳粛に、かつ感動の卒業式が行われました。学校長の「この世で起こったことはこの世で解決できる。何事からも逃げないで正面から立ち向かおう。」というお話が印象的で、生徒たちの胸に強く刻まれたことと思います。式後、各教室では、保護者の前であらためて担任より一人ひとりに卒業証書が手渡され、最後のHRが更に感慨深いものとなりました。生徒、保護者、教員の涙と笑顔がこの3年間をよりいっそう名残惜しいものにしていました。

## 幼稚園卒園式

元気でね!

桃の花がきれいに咲きそろった3月17日、年長組125名の子どもたちが小学校へと巣立って行きました。いつもはやんちゃな顔も、甘えん坊の顔もこの日ばかりはキラリと引き締まり、幼稚園の最年長児として、大きく成長した姿を見せてくれました。それぞれが新しい場所で、新しい人たちと出会い、健やかに成長してくれることを願っています。



# 「柏原市福祉・防災マップづくりプロジェクト」からの報告

大学 社会福祉学科 立花 直樹

日本全国各地で「福祉マップ」や「防災マップ」が作成されていますが、その多くが行政主導で作成されたもので、市民が主体となって作成したものは非常に少なく、「福祉マップ(バリアフリーマップ)」と「防災(災害時避難)マップ」を一体的に作成したものはさらに少ない状況です。また現在、柏原市内には、計10ヵ所の鉄道の駅が存在し、多くの公共施設や商店、医療機関、金融機関などが、各駅周辺に存在しています。実際には、駅周辺で災害に遭遇することも想定されますが、駅周辺で被災した場合の「防災マップ」は存在していませんでした。

そこで、柏原ライオンズクラブと関西福祉科学大学が連携し、柏原市の後援を得て、平成25年7月に「柏原市福祉・防災マップづくりプロジェクト」を立ち上げ、柏原市内の各駅版の「福祉・防災マップ」を作成することにしました。

そして、中学生(柏原市立玉手中学校・国分中学校の生徒が15名参加)、高校生(本学園の高校生が2名参加)、大学生(本学園の大学生が9名参加)、一般市民など、計40名の方に参画頂くと共に、多くの関係機関・団体のお力をお借りして、福祉・防災調査を行いました。調査結果は、シンボルマークを使用し、分かりやすく一覧表にまとめました。マップ本体は大学イラスト部の学生の手書きによって温もりあふれる地図となりました。さらには、「福祉と防災のあふれる未来の河内国分駅」をテーマに描いた小学生のイラストの数々が「福祉・防災マップ」に夢と彩りを添えています。

完成した「柏原市福祉・防災マップ(河内国分駅版)」は、平成27年2月4日に柏原ライオンズクラブ(宮川資夫会長)と本学園(江端源治理事長)より柏原市(中野隆司市長)へ贈呈され、2月末に「広報かしわら」と一緒に、河内国分地域の約11,500世帯へ配布されました。

今回の「柏原市福祉・防災マップ(河内国分駅版)」の完成は第一歩であり、平成27年2月4日から、第2弾となる「柏原市福祉・防災マップ(柏原駅版)づくりプロジェクト」がスタートしました。



福祉・防災マップづくり調査員養成研修



福祉・防災調査結果に関する報告会



福祉・防災調査(FM.coccoloco取材中)



「福祉・防災マップ(河内国分駅版)」贈呈式

# 短大新校舎(短大7号館)建築中

法人本部 施設部 田堀 富造

昨年9月に着手した短大新校舎の建築がいよいよ佳境に入ってきました。本年1月13日に、理事長始め関係者出席のもと上棟式が執り行われました。3月末時点で進捗率が約45%、外壁ALC壁の設置が完了し、内装仕上げ工事にも着手し計画通りに進んでいます。現在月2回の工事定例会議を行い、内外装飾について関係者の意見を聞きながら工事を進めています。

本年7月末完成をめざして、内装仕上げ工事などいよいよラストパートとなります。校舎名も「短大7号館」に決定いたしました。またひとつ学園に新しい顔が誕生します。ぜひ楽しみにしてください。

引き続き資材の搬入出、工事騒音など皆さまにご迷惑をおかけすることがあるかと思いますが、元気な学園の誕生のため、ご理解とご協力をお願いいたします。



完成予想図



関係者揃っての上棟式(2015.1.13)



ALC取付状況



全景 7階ALC取り付け

# 高校新校舎 設計業務に着手



イメージ図

高校新校舎 平成29年3月完成(予定) ※外観等は変更されます。

高校新校舎構想は、高校新校舎建築構想委員会と法人本部施設部及び外部アドバイザーも交えて昨年11月から1月にかけて計8回の会議をもち、議論・検討を重ねてきました。その間、近年新築された他の高等学校の校舎見学も5校を数えました。また所属長会、理事会や評議員会でも建築構想候補3案について、メリット、デメリットなどが検討され、「高校2号館を解体し、その跡地に現在の高校2号館、3号館、蜂の巣校舎の3校舎分のキャパシティをもった8階建て、延べ床面積約6,000㎡の新校舎を建築する」プランに決定いたしました。

設計事務所を決定するにあたっては、4社のコンペを実施、合わせてヒアリングなども行い、パートナーとなる設計事務所が理事会にて承認されました。

平成28年度に建築工事に着手し、同年度内の完成をめざしています。平成29年4月には8階建ての新校舎がお目見えいたします。皆さん、楽しみにしてください。

# 短大 保育フェスタ

短大 保育学科 宇津木 七実

保育学科では、保育者を目指す学生の演習の成果を、一般の方々にもご覧いただくことを目的として、造形と音楽を軸にした「保育フェスタ」を毎年開催しています。

「造形作品展」は昨年11月23日(日・祝)に本学で開催され、学生のアイデア満載の作品展示とともに、「子どものためのアートワークショップ」が行われました。学生ボランティアによるワークショップ-「紙工作コーナー」、お話しに触れられる「ミニシアター」、工事中仮設パネルでのお絵かき「ふれあいの森を描こう!」などに、附属幼稚園や地域の子供たちが大勢参加し、会場はかわいらしい笑顔でいっぱいでした。当日は附属幼稚園の造形作品展もあり、学園はさながらミニ美術館のようでした。

また今年のバレンタインデーの2月14日(土)に柏原市民会館リビエールホールで開催された「定期演奏会」では、学生によるピアノ演奏や合唱、新たに大太鼓を加えた和太鼓演奏、有志のダンス、地域交流プログラム「合唱講座」受講生による発表など、多彩な表現が堪能できる舞台となりました。特に今回は短大50周年を目前にして、「合唱講座」受講生と保育学科1年生による校歌の二部合唱もあり、歌うことで喜びを分かち合う体験ができました。

年々行事としての質も向上し、地域の方々にも楽しんでいただき、学生にとっても良い思い出となっているようです。今年度は11月23日(月・祝)に造形作品展、翌28年2月27日(土)に定期演奏会を予定しております。皆様のご来場を心よりお待ちしております。



心を一つにして校歌を合唱  
定期演奏会 2015.2.14

大きな壁に生き物たちを描いたよ!  
造形作品展 2014.11.23

# 「頑張れ!ちびっ子消防隊!」

幼稚園 中村 斉子

1月11日(日)、大和川の河川敷において行われた柏羽藤消防組合の出初め式に、年長組が参加しました。

年末からの本物の消火器を使っての消火訓練では、最初は使い方もわからなかった子どもたちも、何度か使ううちに、炎に向かってかっこよく放水する姿が見られました。

当日は寒かったのですが、待っている間にヘリコプターやたくさんの消防自動車を見て子どもたちは最高に興奮していました。

そして、遊戯の後に火災発生!ちびっ子消防隊が炎に向かって放水し消火することができました。

残念ながら当日参加できなかった子どもたちもいましたが、練習では一緒に頑張ってくれました。

日曜日の貴重な時間にご協力いただいた保護者の方々と、貴重な経験をさせていただいた消防署の方々にこの場をお借りして、お礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。



# 平成26年度 クラブ活動報告 Part2

高等学校 小森 泉

前号でお知らせしましたクラブの活躍に加え、今年に入って、さらなる素晴らしい成績を収めましたのでご報告をさせていただきます。

## 日本拳法部

第19回全国高等学校日本拳法選抜大会  
(大阪市立修道館)

団体戦

男子:準優勝 女子:準優勝

優秀選手として男子1名、女子1名選出される

個人戦

男子:準優勝、第3位

## なぎなた部

第27回近畿高等学校なぎなた選手権大会(奈良県)

団体戦

優勝

## 男子テニス部

第48回東大阪市民体育大会

ソフトテニスの部

優勝、準優勝、第3位



# K'sコンサート

## K'sコンサートでホルンの独奏を披露 ~成長につながる経験でした~

関西福祉科学大学高等学校2年 吹奏楽部 南 和佳



昨年1月に「2014K'sコンサート」でベートーベンのホルン ソナタを演奏してみないかとお話をいただき、「ハイ」と即答いたしました。難しい楽曲とは知っていましたが、演奏させていただくことでもう一回り大きくなるのではと考えました。

ホルンは中学校1年生より始め、高等学校入学後は吹奏楽部でホルンを演奏する気持ちはあまりなかったのですが、やはりホルンが好きで気がつけば入部していました。

今回、プロのピアニストに伴奏をしていただき、多くの音楽を学び、刺激をいただきました。このような機会をいただき、心より感謝いたします。

# K'sコンサートで歌ったよ!

幼稚園 村井 恵

幼稚園の終業式を翌日に控え、クリスマス気分全開の中迎えたK'sコンサート。例年幼稚園は各種展覧会の入選作をホールに展示させていただいておりましたが、今年は初めて年長組の子どもたちが舞台に参加させていただくことになりました。

「どんな歌をうたおう?」「クリスマスらしい歌がいいよね?」と子どもたちは大張り切り。先生たちは練習が間に合うかとドキドキ。毎日の保育の中で少しずつ練習を重ね、きれいな声を出すことやみんなと合わせることを意識できるようになってきました。

当日は大きな舞台に出させていただいたことやお兄様、お姉様方の素晴らしい演奏を聴くことができ、クリスマスのイルミネーションにも勝る子どもたちのキラキラした瞳に「出させていただいて本当に良かった」と心より感謝しています。お力添えいただいた皆様にこの場をお借りしてお礼申し上げます。

